

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年10月7日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	東白川村	代表者名	今井俊郎		
担当者部署	地域振興課商工振興係	連絡先電話番号	0574-78-3111		
担当者役職	係長	担当者氏名	安江由次	連絡先E-mail	
住所	509-1392 岐阜県東白川村神土548				

##### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

#### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	尾形 誠治
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	連日となったが昨日に続き打合せを行った。特に先進自治体との繋がりが豊富なため、打合せの際にすぐに長野県立科町との連絡を取っていただき、急きょWEBミーティングの場を設けていただくなどスピーディな対応をいただいた。また、今回の打合せにおいても当村関係者との事前ミーティングを行っていただいております、今後の方向性を広げていただいた。
アドバイザーへの要望事項	来年以降の稼働に向けて、引き続きのアドバイスをお願いしたい。

#### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年10月6日	8時30分	12時00分		210
3-2. 派遣場所	会場名	東白川村役場		最寄駅	帰り(JR中津川駅)
	所在地	岐阜県加茂郡東白川村神土548番地		最寄駅からの交通手段	当方送迎
	派遣形態	支援・助言(実地)			

#### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

#### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 職員	人数 1人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	・どのような形態でテレワーク事業をスタートさせるべきか。(先進地の傘に入るか、独自で進めるか) ・テレワーク施設における駐車場の問題	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	・来年度以降のスケジュールも含めた計画の策定 ・テレワーク事業を行うに当たっての村内への認知及びワーカーの確保	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	・先進地(塩尻市)への視察と、(郡上市)とのWEBミーティングの場を急きょ仲介いただいた。 ・来年予定しているセミナー開催において、立科町ワーカーグループが良いのではないかと助言 ・先進地(立科町)とのWEBミーティングを急きょ設定いただき、来年度の活動や予算の方向性を確認 ・今後のワーカー研修会においては、そのレベルにあった研修が必要との助言	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	・当村における事業形態は、先進地への視察、または関係企業へのニーズ聞き取り後に決定する ・来年度以降の事業計画、予算についておおよそイメージができた	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	・テレワーク施設における駐車場の問題 (この問題は事業を進めていく上で、必要に応じて協議する)	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	次年度はまずはソフト面で予算化(アンケート実施、セミナーの開催により事業の認知を行う)。本格的な実施はR5予定。(施設の構築、事業のスタート)	

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



立科町は“未来の働き方”で企業の課題解決をサポートします

**TATESHINA Telework Center**  
立科町テレワークセンター

長野県にある人口2000人の小さな町・立科町では、地方の新しい働き方に挑戦しています。立科町在住ワーカーが一人となり、貴社の「まわらない仕事」を全力で推進します。

*Think office is distant business*

<b>Analysis</b> アナレーション	<b>Data entry</b> データ入力	<b>Media operation</b> メディア運用	<b>Back office</b> バックオフィス・間接業務
<ul style="list-style-type: none"><li>画像・動画データのタグ付け</li><li>自動運転用AI教習データ作成</li><li>生活環境に関わるAI開発データ作成支援</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>名刺名簿入力</li><li>申込書・申請書作成</li><li>お客様リスト作成・修正</li><li>アンケート入力・集計</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ライティング</li><li>メルマガ運用</li><li>EC商品登録・修正</li><li>画像修正・作成</li><li>ポスター・チラシ作成</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>営業事務支援</li><li>購買事務支援</li><li>経理事務支援</li><li>総務事務支援</li><li>イベント運営支援</li></ul>

立科町の専属チームが御社のバックオフィスを担います。

<b>地域貢献</b> 立科町が長年培った社会参加を継承することを目的としています。町と人・企業が一体となった事業に参画いただくことで、御社の地域貢献につながります。	<b>専属チームが対応</b> 個人へ依頼するアウトソーシングサービスとは異なり、お客様専用のプロジェクトチームを組んで対応いたします。お客様にコミュニケーションの負担をかけず効率的に業務を推進します。	<b>高い信頼性</b> 立科町テレワークセンターは、立科町が取り組む「働き方改革」の一環として設立されました。業務のご依頼から発注・ご納品まで、立科町の手厚いサポートのもと、安心してご契約いただけます。
--	--	---

**ご利用の流れ**

- 1. お問い合わせ**  
まずはお問い合わせフォームからお気軽にお問い合わせください。
- 2. ヒアリング**  
ご希望の業務について詳しくヒアリングさせていただきます。ご予算やお返りのことなど、遠慮なくご相談ください。
- 3. お見積り**  
ヒアリングした内容をもとに担当者より見積書をお出しいたします。
- 4. ご検討**  
見積書内容をご検討いただき、社内で十分にご確認ください。ご不明点がある場合はお気軽にご相談いただけます。
- 5. ご契約締結**  
ご決意の上、問題なければ契約書をお送りいたします。ご契約締結になりましたら、ご依頼業務に最適な専属チームを形成し、業務を開始いたします。